

平成27年度

千代田中学校の取組



報告の内容

(1) 本校の実態

(2) 本校で身に付けさせたい

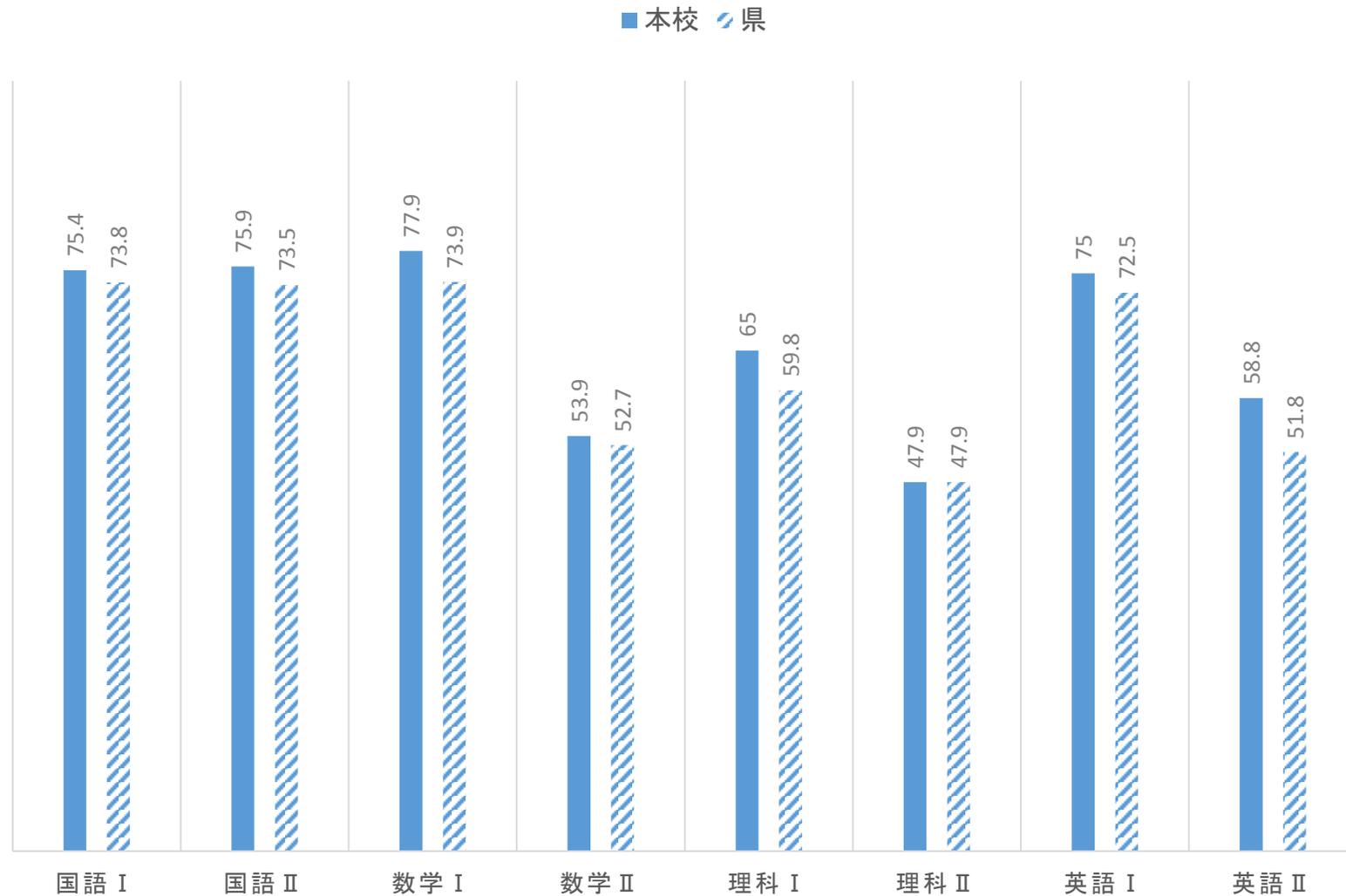
資質・能力

(3) 授業づくり3本柱

(4) 今後に向けて

(1) 本校の実態

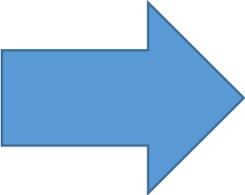
平成26年度「基礎・基本」定着状況調査



(1) 本校の実態

無解答率

	I	II	
国語	0.4	2.4	4.8
数学	0.9	11.6	21.4
理科	1.2	5.6	29.8
英語	2.4	10.8	24.1



(1) 本校の実態

生徒質問紙(平成27年)

		本校	県	
「課題発見・解決学習」	(13) 授業では、解決しようとする課題について、「なぜだろう」、「やってみたい」と思います。」	82.17	66.5	15.7
	(14) 授業では、解決しようとする課題について、「たぶんこうではないか」、「こうすればできるのではないか」と予想しています。	76.96	73.2	3.8
	(15) 授業では、課題を解決するために、進んで、資料を集めたり取材をしたりしています。	57.24	38	19.2
	(16) 授業では、課題を解決するための情報を集める前に、どのような方法だと必要な情報を集めることができるのかを考えています。	58.40	45.5	12.9
	(17) 授業では、調べたことなどを、図、グラフ、表などにまとめています。	48.69	49.4	▲ 0.7
	(18) 授業では、情報を、比べたり(比較)、仲間分けしたり(分類)、関係を見付けたり(関係付け)して、何がわかるのかを考えています。	63.59	62.8	0.8
	(19) 授業では、自分の考えを積極的に伝えています。	54.14	56.2	▲ 2.1
	(20) 授業では、自分の考えとその理由を明らかにして、相手に分かりやすく伝えるように発表を工夫しています。	67.51	56.4	11.1
	(21) 授業では、考えたり提案したりしたことについて、実際に取り組んでいます。	63.53	62.7	0.8
	(22) 学習の振り返りをするときには、「どこまで分かったか」、「学習の方法でうまくいったことや失敗したことなどの理由」を考えています。	62.16	62.7	▲ 0.5
	(23) 学習の振り返りをするときには、「もっと考えてみたいこと」、「もっと調べてみたいこと」、「もっと工夫してみたいこと」などを考えています。	62.62	54.8	7.8
	(24) ふだんの生活や学習の中で、これまでに学習した内容や学習の進め方を使っています。	65.22	70.9	▲ 5.7
	(25) 授業では、友だちと話し合うなどして、自分の考えを深めたり、広げたりしています。	67.11	74.2	▲ 7.1
	(26) 授業では、実際にものを使ってやってみたり、地域や自然の中で学習したりするなどの体験活動をしています。	67.40	53.6	13.8
(27) 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいます。	77.45	62.9	14.5	

(2) 本校で身に付けたい資質能力

1 教師の感じている生徒の実態と目指す姿

第3回校内研修「千代田中学校の生徒につけたい資質・能力」



できている・身につけている力	必要な力・できていない
<p style="text-align: center;">できていること 身に付いている力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○あいさつ (コミュニケーション) ○一定の授業規律 ○指導されたことを実行する力 (実行力) ● ● ● ● ● 	<p style="text-align: center;">できていないこと 必要な力</p> <ul style="list-style-type: none"> ○コツコツと学習を積み上げていく力 (実践力) ○自分の都合の悪いとき、ハードルの高いときに逃げない力 (解決力) ● ● ● ● ●

スキル

課題発見・解決力
企画力・創造力
知識・情報活用能力
論理的・建設的批判能力
思考力・判断力
表現力
実行力
交渉力
語学力
コミュニケーション能力等

●あ
●一
●指
●語
●に活
●自
●A
●(コ

(2) 本校で身に付けたい資質・能力

知識

各教科の力

スキル

表現力

思考力

意欲・態度

主体性

多様性に対する
適応力

価値観・倫理観

自己効力感

責任感

(2) 本校で身に付けたい資質能力

千代田中学校で身に付けさせたい資質・能力

資質・能力	具体的な姿	1学年	2学年	3学年
スキル	1 周囲と積極的に関わろうとする	↑ ↓		
	2 困難に直面したとき、周囲に支援を求めることができる			
	3 困難に直面したとき、自発的に質問したり、説明を求めることができる			
	4 困難に直面している仲間に対して、進んで支援をすることができる			
	5 適切な言葉の選択をする			
	6 自分の考えを伝えるための話し方ができる		↑ ↓	
	7 周囲の人が仲間と関わりがもてるような働きかけができる			
	8 要点を明らかにし、相手に伝える			
	9 要点を捉えながら、聞いたり読んだりし、理解する力			
	10 資料を用いて発表したり、論理的に説明する			
	11 TPOに応じた意思表示ができる			
	12 相手の反応を見ながら話したり聞いたりする			
	13 相手の考えを尊重した話し方ができる			
	14 つながりを考えながら、聞いたり話したりする			
	15 相手の要求に応じたふさわしい内容を選択し話す			↑
思考力	1 設定した目標を達成するために、自ら課題を発見する力	↑ ↓		
	2 計画を立て実行に移す力			
	3 計画的に物事を進める力			
	4 課題解決に向けて、計画を立てたり見直したりする		↑ ↓	
	5 異なる意見や考え方を積極的に受け入れる姿勢			
	6 事象などから分析し、変化や矛盾に気付く力			
	7 整理・分類し、関連させながら考える力			↑

(2) 本校で身に付けたい資質能力

3 教科レベル

千代田中学校で身に付けさせたい資質・能力

資質・能力	具体的な姿	国語	社会	数学	理科	音楽	美術	技術 家庭	保健 体育	英語	ひまわり
スキル	表現力					○	○		○	○	
	1 周囲と積極的に関わろうとする					○	○		○	○	
	2 困難に直面したとき、周囲に支援を求めることができる										○
	3 困難に直面したとき、自発的に質問したり、説明を求めることができる			○	○						
	4 困難に直面している仲間に対して、進んで支援をすることができる			○	○				○		○
	5 適切な言葉の選択をする		○								
	6 自分の考えを伝えるための話し方ができる										○
	7 周囲の人が仲間と関わりがもてるような働きかけができる							○			
	8 要点を明らかにし、相手に伝える				○	○					
	9 要点を捉えながら、聞いたり読んだりし、理解する力	○		○							
	10 資料を用いて発表したり、論理的に説明する	○	○								
	11 TPOに応じた意思表示ができる					○				○	
	12 相手の反応を見ながら話したり聞いたりする						○	○			
	13 相手の考えを尊重した話し方ができる							○			
	14 つながりを考えながら、聞いたり話したりする		○				○		○	○	
15 相手の要求に応じたふさわしい内容を選択し話す	○										
思考力	1 設定した目標を達成するために、自ら課題を発見する力				○				○	○	
	2 計画を立て実行に移す力						○				
	3 計画的に物事を進める力						○				
	4 課題解決に向けて、計画を立てたり見直したりする				○			○	○	○	○
	5 異なる意見や考え方を積極的に受け入れる姿勢					○					
	6 事象などから分析し、変化や矛盾に気付く力	○	○								
	7 整理・分類し、関連させながら考える力	○	○	○					○		○

(3) 授業づくり3本柱

- ① 導入の工夫
- ② 小集団での学習
- ③ ふりかえりの充実

①導入の工夫

継続的な課題意識

なぜ？

どうすれば
できる？

何のために
するの？

ゴールの姿

生徒・指導者
の
共有

生徒自身による課題発見

〈実践例〉

国語科

作品から世界を見つめよう
～平和をアピールするちらしを作ろう～

【資料1】3年A組の意識調査

① 今年が戦後70年	79.3%
② 広島に原爆が投下されたのは、 1945(昭和20)年8月6日8時15分	75.9%
③ 終戦日は、8月15日	41.3%
④ 長崎に原爆が投下されたのは、 1945(昭和20)年8月9日11時2分	41.3%
⑤ 広島県で空襲にあったのは 福山市と呉市	24.1%

【資料2】※平成22年度実施 平和に関する意識実態調査(広島市対象)より

項目		H7	H12	H17	H22
「広島原爆投下の正確な年・月・日・時分」についての知識・理解(全て正解の場合)	小学生	55.7%	35.2%	49.6%	33.0%
	中学生	74.7%	63.0%	67.6%	55.7%
	高校生	—	—	—	66.3%

「課題発見」の単元開発を行う際のポイント (中核教員研修にて)

- ズレやギャップなど、
「あれ？」「どうして？」と感じるような仕掛け
- ゴールの姿など、学習後がイメージできる
- 学習後のふりかえり
(わからなかった、疑問など)
- 他教科・領域、地域との関連 など

②小集団での学習

「グループで行う協働的な学習」

- ルールの確立
- 目的や効果を生徒・指導者が共有
- 適した学習課題の設定

○ 「小集団での学習」の進め方

①人数・・・3～4人（基本）

②約束事

- ・机の配置，机上の整理
- ・グループ内の発表順
- ・ホワイトボードの活用，使い方



〈実践例〉 保健体育科 長距離走

理想の姿

【適切なアドバイスについて】

- ・ 1周目の入り方はどうなのか伝える。
- ・ 何周目であるかを伝える。
- ・ 目標スプリットタイムと比較して現在の状況（速い・適切・遅い）を伝える。
- ・ ラスト1周であることを伝える。
- ・ ゴール前はラストスパートをかけるように伝える。
- ・ 相手のやる気を引き出すような声かけをする。



【ことばのかけ方について】

- ・ 大きな声で
- ・ 気持ちを込めて
- ・ スタート
- ・ ゴール線の少し手前から
- ・ 相手の目を見て
- ・ 名前を呼んで

係わり合い



これをしたとしなかったでは
全然違う。ぶち速くなる。
学習効果抜群。タイムもUP
するし、やる気も出る。
人間関係もすごくよくなる。
他の教科でもやるべき！



③振り返りの充実

I 新たな課題の発見

II 学び続ける態度の育成

I 新たな課題の発見

めあてに対する自己評価
自己の学びの振り返り

わかったこと
理解できたこと
考えたこと

理解できなかったこと
疑問 わからなかったこと

学習の整理

新たな課題

Ⅱ 学び続ける態度の育成

学びのつながり

学びの広がり

他分野

本時
単元

既習
事項

他教科

生活

今、○○の授業で
△△を習っている

一学期に習ったこと
と比べてみよう

ふりかえり

よう。



(4) 今後に向けて

- 本校で身につけさせたい資質・能力
について、生徒への提示と評価
- 「授業づくり3本柱」に沿っての授業
研究

集団作り



ご清聴ありがとうございました。